



発行:久元きぞう後援会連合会
Nov 2014 第2号
651-0084
神戸市中央区磯辺通4丁目2番26号 新美善ビル内
TEL:078-222-0155
FAX:078-222-0166

KOBE 上昇気流 Vol 2

久元きぞう、この1年

あなたとともに、
神戸を新しいステージへ

神戸の都心の『未来の姿』の検討をスタート

三宮を中心とする神戸の都心を大胆に活性化していくため、のぞましい神戸の都心の「未来の姿」について、広く市民のみなさんからご意見を募集しました。
(平成26年1月)

また、それらのご意見を参考にしながら将来ビジョンをとりまとめるため、地元や市民・事業者の方々、学識経験者を交えた『神戸の都心の「未来の姿」検討委員会』を新たに設置し、「神戸未来都市創造プロジェクト」をスタートさせました。

今後も市民のみなさんからのご意見を広くお聞きしながら検討を進めていきます。
(平成26年3月～)



商店街・市場「応援隊」を発足

商店街・市場は、まちなぎわいづくりや安全・安心で人々がふれあう地域づくりなどの面で、大変重要な役割を担っています。

そこで、神戸市内の商店街・小売市場のさらなる活性化に向けて、9人の隊員で構成する「商店街・市場「応援隊」」を新たに発足させ、頑張る商店街・市場の課題の掘り起こしや、活性化に向けた取り組みのサポートを行うこととしました。(平成26年3月～)

10月には応援隊の取り組み状況や先進事例を紹介する「商店街・市場活性化フォーラム in KOBE」を開催し、多数の参加者とともに街のにぎわいづくりについて考えました。

保育所入所待機児童数が過去最少に

平成25年度に過去最大となる1,173人分の保育枠の拡大(保育所の創設、小規模保育事業の実施等)を行った結果、平成26年4月1日現在の保育所入所待機児童数は、昨年度の337人に比べ214人減少し、過去最少の123人となりました。

平成26年度も、引き続き約1,400人分保育枠の拡大を行うほか、保育士確保対策や保育サービスコーディネーターを配置するなど、保育所待機児童の解消をはかっていきます。
(平成26年4月～)



ひさもと きぞう
神戸市長 久元 喜造

「大学生と神戸市長との円卓会議」

大学生や短大生、大学院生の方々に、市政全般に対して幅広く意見、提言を出していただき、学生ならではの発想や視点を市政に反映していくため、40名の学生と5名のファシリテーターからなる「大学生と神戸市長との円卓会議」を設置しました。

6月の第1回会議では、「まちの活性化」をテーマに、観光や居住環境などの面で多くのアイデアが活発な議論のもとに出されました。

9月の第2回会議では、「ひとの活性化」をテーマに、交流の場づくりの必要性や、子育て環境の充実、女性の活躍の場の拡大などが議論されるなど、両会議を通じて、神戸市の抱える課題について真剣な討議を頂き、多くの意見・提言が出されました。

今後も、この会議の回を重ねながら、可能な限り市政に活かしていきたいと思っています。
(平成26年6月～)

乳幼児等・こども医療費助成制度を拡充

子育て世帯の医療費負担の軽減をはかるため、乳幼児等・こども医療費助成制度の3歳児～中学3年生の外来の一部負担金を、平成26年7月1日受診分から「1医療機関・薬局等ごとに1日500円上限(2割負担)、月2回まで(3回目以降無料)」に拡充することとしました。



今後も引き続き、安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備に重点的に取り組んでいきます。
(平成26年7月～)

主要国首脳会議(サミット)の神戸誘致に名乗り

2016年に日本で開催が予定されている主要国首脳会議(サミット)の神戸開催の誘致を進め、「2016年 神戸サミット」の実現をめざしていくこととしました。

阪神・淡路大震災から20年になり、甦った神戸の姿や支援に対する感謝、復興過程で培われた防災・減災文化を、世界に発信し、「貢献する都市・神戸」を目ざしていきます。

8月29日には、兵庫県・神戸市、並びに神戸商工会議所をはじめとする地元経済界など、多くの関係機関等が連携して「2016年 神戸サミット誘致推進協議会」を立ち上げ、第1回協議会を開催しました。

今後も官民一体となって、国・関係機関等に対して積極的な誘致活動を進めていきます。
(平成26年8月～)



土砂災害対策への取り組み



8月に広島市で発生した大規模な土砂災害をふまえ、また、六甲山系をはじめとした本市の山地においても土砂災害が発生しやすい地形・地質

であることから、土砂災害から市民の安全・安心を守るために必要な施策を検討することを目的に、「土砂災害対策に関する有識者会議」を設置し、第1回会議を開催しました。

会議には、防災工学や地盤工学、さらには、気象、資源保全学、防災心理学など、7名の多様な分野での有識者の方々にお集まり頂き、広島市の土砂災害の調査内容や神戸の気象特性等について発表頂くとともに、「土砂災害危険区域」の有り方等について議論頂きました。

論点が非常に多岐にわたる重要な会議であることから今後、委員を増やしながらか、より内容を充実させていくこととしています。
(平成26年9月～)

子どもたちの安全を守るための緊急対策の実施

長田区名倉小学校に通う女子児童の貴い命が、決してあってはならない凶悪犯罪のもとに奪われてしまいました。



今回のような卑劣な犯罪から子どもたちを守るため、私たちは、子どもを狙う凶悪な犯罪者が数多く存在することを現実のものとして受け止め、全力を尽くして抑止していかなければなりません。

事件を受けて、直ちに臨時の局長・区長会議を開き、教育委員会をはじめとした今回の神戸市の対応について検証するとともに、各区長から、地域住民の方々の不安感や市に対する要望の状況等について報告を求めました。

それらの結果をふまえ、地域からの声が多い防犯カメラの設置拡充や防犯ブザーの再配布に向けて、早速補正予算を編成することとしました。

子ども達が犠牲となる犯罪の根絶に向けて、今後も、様々な観点から子どもの安全確保に向けた取り組みを充実していきます。
(平成26年9月～)

今後の神戸市の人口減少対策への取り組み

本市の人口が、平成24年から減少に転じる中、これまで以上に、その動態をふまえた増減要因等を分析し、将来のまちづくりのあり方等について検討する必要があることから、「今後の神戸市の人口動態に関する有識者会議」を設置しました。
(平成26年7月～)

会議には、3人の有識者に加え、7月から神戸市顧問に就任頂いた「日本創生会議」座長の増田寛也氏(元総務大臣)にも参加頂き、将

来人口やその構成、海外も含めた他都市の取り組み事例など、様々な角度から人口減少社会に対応したまちづくりのあり方について議論、検討し、新たな計画策定の検討等に活かしていくこととしています。10月には、第2回会議を開催し、増田氏の講演や各委員からの発表、ディスカッションなどを行い、女性の就労や住環境の整備など多面的な検討を行いました。

お知らせ

久元きぞうに対する支援の輪を広げましょう。

後援会ではあなたのご入会をお待ちしています。既に会員の方は新たに会員になっていただける方をご紹介します。

ご連絡は

① お電話で 078-222-0155

又は

② ネットで 久元きぞう

検索

クリック